

FAX通信



いでは

発行：平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



17.9.21
週報第 657号

こども感染症情報

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第37週(9/11~9/17) (36週)	
	発生数(人)	前週との比較
百日咳	1(0)	→
ヘルパンギーナ	1(8)	↘
感染性胃腸炎	24(23)	→
溶連菌咽頭炎	5(2)	→
咽頭結膜熱	3(3)	→
水痘	0(0)	→
RSウイルス	33(44)	↘
手足口病	4(12)	↘
突発性発疹	1(6)	↘

(参考) 秋田県の状況 第36週(9/4~9/10)
<全県の発生状況>
1位：ヘルパンギーナ (全県で前週より14%減少)
2位：RSウイルス感染症 (全県で前週より5%減少)
3位：手足口病 (全県で前週より30%減少)
4位：感染性胃腸炎
5位：溶連菌咽頭炎
県内 警報・注意報
警報：手足口病(大館・由利本荘)
警報：ヘルパンギーナ(大館・北秋田)
警報：咽頭結膜熱(湯沢)

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による

※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

横手地域・学校欠席者情報(9/19)

疾患名	おたふく	感染性胃腸炎	マイコプラズマ	手足口病	水痘	溶連菌咽頭炎	咽頭結膜熱	その他
施設(数)								
保育所・園(35)	1	2	1			1	1	15
小学校(22)		1						
中学校(8)								
高校(7)		1						
特別支援学校								

ヘルパンギーナが県内で流行中です

代表的な夏かぜのひとつで、発熱と口腔内の水疱性発疹が特徴です。
8月下旬以降、県北を中心に患者報告数が増加しています。
保育園での集団感染事例も9月13日時点で6件報告されています。

●感染経路と症状

患者の大部分は5歳以下の小児ですが、大人も感染します。咳やくしゃみ、手指や食器を介して等で、感染します。のどに水疱ができ、痛みが生じます。

●予防について

手指を介して感染することから、手洗いが効果的です。便にもウイルスの排泄があるため、トイレやオムツ交換後も手洗いが必要です。

